

真言宗 薬園山 長泉寺
御室派

〒700-0807

岡山市北区南方3丁目10番40号

TEL (086) 223-7450

FAX (086) 221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ www.chosenji.net

第 335 号



令和となって四年目を迎えた。一旦は落ち着きをみせたコロナだが、オミクロンなる新種がまた急速に拡がっている。

人が人に会えないという異様な状況が二年も続く今、経済もではあるが危惧されるのは特に人心である。孤立を深める個人が増え、心のゆとりが失われつつある。そこであらためて考えたいのが「個人」とは何か？ということだ。

現代社会において「個人」は最大限尊重されるべき存在ではあるものの、自然界には「個」そのものが存在しない。地球の生態系、森羅万象は、常に分解と合成を繰り返すことによつて維持されていて、すべてのものが個体ではなく流体、よ

私とあなたとの間

ひともし

り正確に言葉にすれば「もの」ではなく現象である。

その意味で、「私」とは実に不思議な存在である。私は、「私」という個人のように思えて、私個人で成立しているわけでも私一人で生きているわけでもない。自己と他者との間に私を「私」せしめる空間(関係性)が拡がっていて、その空間を生きるがゆえに私たちは自らを「人間」と呼ぶ。仏教でいう「諸法無我」、それである。

コロナ禍における心の問題は、個人と個人、私とあなたとの間に拡がる空間にこそ、その本質がある。そしてだからこそ、その空間を豊かなものにしなさいといけないうし、そうなるよう大切に一年を過ごしたいと考えている。(龍)

除災招福 厄除祈願

節分 星供養法会

2月3日(木) 19時 寺内僧侶のみで奉修

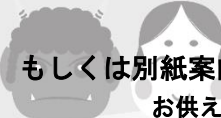
本年の節分は、**新型コロナウイルス流行のため参拝できません。ご了承下さい。**

厄年の御方は、お菓子やお餅などをお供え下さい。

節分祈願札をご希望の方は、当山ホームページより、

もしくは別紙案内用紙をご記入の上、事前に寺務所まで申込み下さい(1,000円/一願)。

お供えのお菓子の一部は、児童養護施設「若松園」様に寄付させていただきます



新年のご挨拶

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろからお寺のことにつきまして、なにかとご協力をいただいておりますこと、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大からほぼ2年を迎え、出口の見えない閉塞感を抱えていた日本ですが、ワクチンの接種が進んで感染者が減少し、緊急事態宣言がひとまず終わるなど、わずかながら明るい兆しも生まれています。その間、お寺でも例年行事の縮小や取りやめ、お彼岸やお盆の訪問参拝などに関し大変なご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご協力を得て無事に執り行うことができました。しかしながら、昨年末から国内においてもオミクロンという新種の変異株が発生、拡大して、新しい脅威が生まれています。本当に一日も早く安心して生活できる日常が戻ってくることを願って止みません。

お寺のことにつきましては、現在本堂西側に建設中の八角円堂はつかくえんどう（仮称）が今春には完成する予定です。四月頃には落慶法会を執り行い、皆様にご披露できるかと思えます。

このたび総代会においては役員の変更がございました。今まで同様に力を合わせて健全な寺運営に当たりたいと考えています。

結びになりますが、皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしました。新年の挨拶とさせていただきます。

本年も宜しく願っています。

長泉寺総代長 岩見徹



新総代ご紹介



あけましておめでとございます。

今年は何より「コロナからの解放」が願われますね。コロナが落ち着いた暁には、檀信徒皆様とより一層の良いコミュニケーションが取れるよう、また、皆様にお寺をさらに親しんでいただけるよう、当山総代会を中心に各種取り組みを進めていきたい、と年明けより頭をぐるぐると思っております。

さて、寅年の今年、当山では春に八角円堂はつかくえんどう（仮称）が建立、落成いたします。それは、檀家精霊を弔うための道場であり、かつ、当山境内に乞い願われた「仏塔ぶつとう」であります。本尊は中国洛陽市白馬寺はくばじより請来された「玉佛釈迦牟尼如来像ぎよくぶつしあかにょににょらいぞう」で、国際仏教交流のシンボルタワーとも相成りましょう。今後、多方面に活躍してくれることと期待しつつ、檀信徒皆様にはお寺の発展をもとに喜んでいただき、今後の様々な寅とらい（トライ）を支えていただければ幸いです。

長泉寺 住職 龍門

このたび総代を仰せつかりました多田章利です。好きな言葉は「日々革新」。毎日少しずつ新しくなりたいと思っております。また Motto は「頼まれごとは試されごと」。今回いただいた総代のご縁

をありがたい試されごととして、微力ではありますがお寺の発展に尽くして参りたいと思っております。よろしく願います。



新春 大般若法会

新年を迎え、当山では正月8日初本尊薬師ご縁日に、檀信徒皆様の一年の安寧を祈願する「大般若法会」を奉修いたしました。

当日は、有縁の諸寺院にご参集賜り、般若空の教えを説く『大般若波羅蜜多經』六百巻を転読するとともに、清興としてRSKラジオでもおなじみの松原徹さん（ボイスクリエーター）



にご講演をいただき、正月らしい晴れやかな一日となりました。現在、新型コロナウイルス感染症、特にオミクロン株が急速な拡がりを見せておりますが、どうか本年を以って疫病が収束し、皆様が心豊かに過ごせる一年となりますよう祈っております。お力添えいただきました関係者皆様には心より御礼申し上げます。

除夜の鐘

昨年大晦日から新年元旦にかけ、当山鐘樓門に於いて「除夜の鐘」を奉修いたしました。

新型コロナウイルス感染予防のため、参拝された皆様にはマスクとビニール手袋をご着用いただき、お一人お一人が鐘を突き、新たな年を祝うとともに安寧なる一年を願いました。

新型コロナウイルスの影響もあり、例年より少くはありましたが、それでも百名を超える方々にお参りいただき、にぎやかな年始となりました。

ご協力いただきました皆様には心より御礼申し上げます。

コンサート環

「長泉寺合唱団ナーガ」は昨年十二月二十六日、岡山ルネスホール（旧中国銀行）にて「コンサート環」に出演しました。

コンサート環は、ナーガも指揮される佐々木英代先生（岡山

県演奏家協会会長）が主宰する催しで、今回で十九回目の開催でした。コロナが落ち着いていた時期ということもあって多くの方にご来場をいただき、華やかなコンサートとなりました。また、今回は特別に龍門住職も出演し、ナーガとともに歌声を響かすなど、緊張の中にも楽しく豊かなひとときでありました。



八角円堂の建設状況

現在、境内に建設中の八角円堂（仮称）は、瓦葺きの工程が大詰めを迎えており、次に天井、および内外装工事に入ります。

三月中には完成する予定で、総代会では四月に落慶法会、並びに檀信徒皆様へのお披露目を行うべく、ただいま準備を進めております。

もうしばらくの間、境内墓地、並びに樂陽廟へ参拝される御方にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解、ご容赦いただきました。くよろしくお願いいたします。



後七日御修法 結願

真言密教最高儀である「後七日御修法」が、本年一月八日から十四日にかけて東寺灌頂院（京都市）にて執り行われました。

本年は、真言宗智山派管長である智積院・布施淨慧化主が大阿闍梨をお勤めされるとともに、新型コロナ対策として、儀式関係者約一三〇名がPCR検査による陰性確認を実施した上での奉修となりました。

御修法とは、宮内庁の勅使によつて届けられた天皇陛下の御衣の前に、真言宗各本山より出仕した高僧らが一日三座の大法を一週間かけて勤め、玉体安穩、鎮護国家などを祈願する法会です。

真言宗祖弘法大師様が八三五年に宮中で始められて以降、一時の中断を経て今日まで継続されています。

ほんとうの「解」を求める

日本語と真言宗 名譽位職 光研

「仏」の日本語源は「解る」です。迷いや謎が解ける。重い荷物を持つて遠い道を行き、やつとの思いで到着したときに荷物の紐を解いて楽になる。仏教とはそういうものだと思います。

中国の漢語で「解放」。呉音で「解脱」。人はこの「解」を求めたいものです。科学にも、宗教にも、この解答が求められています。

『おかんき』の最初にある『開経偈』に、「願わくは如来の真実義を解し奉らん」とありますが、ほんとうの「解」とは何でしょうか。

仏教は、「思う」とか「考える」といったレベルではなく、「分かる」、「解る」が大事です。修法や念仏、座禅もそう。さいごに

は分かった！と躍り上がらんばかりに喜ぶことを目指すのであって、そこに仏教の真実があるように思います。

お坊さんのみならず、ジャーナリズムにも表現者にも「解」が求められます。環境問題にも、人生の暗闇を脱するためにも、ほんとうの解、ホトケのことは「真言」が要るのです。

かつて、空海が真言密教を開き、仏教を解いてみせました。比叡山では最澄が大乗戒壇を開き、妙法を説かれました。それはすばらしい日本仏教の開花であり、ホトケの実在が示されたのだと思います。

仏法は「解」を求めてやまぬなり。短歌や俳句の真実「解」は多様にして、唯一なるもの——真言宗の華やかなる文芸の世界であります。まさに言葉の幸わう国ですね。

哀悼 故安達靖氏

法号 淨藏院綾壽靖徳居士

昨年十二月二十八日、当山元総代で備前味噌醤油株式会社長の安達靖氏が、享年九十四歳にてご逝去なされました。

ご生前における当山へのご奉仕に深く感謝し、謹んで哀悼の誠を捧げる次第です。

合掌

奉納 写経机

長泉寺写経会にて使用する「写経机」の新調に際し、昨年秋に奉納寄付を募らせていただいたところ、九名の方が施主をお勤め下さり、おかげ様をもちましてこの度、予定していた机六脚と椅子十八脚が無事、納品されました。

施主様方にはあらためて心より御礼申し上げますとともに、今後、大切に使用させていただきます。

おかげさまで開催五十回

長泉寺将棋クラブ誕生秘話

長泉寺将棋クラブの開催が、本年二月に五十回を迎えます。

同クラブは、平成二十九年一月に始まったわけですが、その後、藤井聡太さんらの活躍で将棋人気が高まり、そのお陰もあって今でも多くの方がご参加下さっています。

そもそもお寺で将棋クラブを始めたのは、子育て世代のお父さんお母さんを支援することが目的でした。「休みの日にちよ



将棋クラブの様子 ※コロナ前

とだけ誰かに子どもの面倒を見てもらいたい」ということは親なら誰しもよく思うことでありますが、今の時代はお爺さんお婆さんが近くに住んでいない、近所の誰かにお願ひすることも出来ない、というケースがほとんどです。

そこで、お寺がちよつとした託児所のような機能を持つことができれば、親にとっても子どもにとっても素敵なことだなと考え、それにピッタリなものが将棋でした。

例えばボランティアさんに頼んで子守りをしてもらうにしても、子どもの元気の良さに付き合うためには相当の体力と気力が必要ですし、きつと長続きしないだろうと安易に想像される一方で、将棋なら大人と子どもが平等に遊ぶことができ、それが結果的に子守りの役割を果たすこととなります。また将棋は、子どもの知育になるだけでなく、

ご年配の方にとってもとても良い頭の体操になります。そして子育て世代は助かる——ウィン・ウィン・ウィン、三者円満というわけなのです。

ただし将棋を始める際に困るのが、将棋盤と駒です。せっかくお寺でやるのだから、ちゃんとした将棋台を使いたいと思うのですが、これが当然、相当高価なわけです。やりたいけど初期投資にお金がかかってしまう、と。ところがそれはあつという間に解決しました。檀徒皆様の中に「亡くなったお爺ちゃんが、将棋が大好きで立派な将棋台もあるのだけれど、今はもう誰も使わず、ホコリを被って部屋の隅に・・・」というお宅が結構ございまして、その方々にお願ひしたところ「お寺で使ってくれるならお爺ちゃんの供養にもなるだろうし一番いいね！」と快く皆さん譲って下さったのでした。(龍)

令和4年 年忌表

一周忌	令和三年亡
三回忌	令和二年亡
七回忌	平成二十八年亡
十三回忌	平成二十二年亡
十七回忌	平成十八年亡
二十三回忌	平成十二年亡
二十五回忌	平成十年亡
二十七回忌	平成八年亡
三十三回忌	平成二年亡
五十回忌	昭和四十八年亡

年忌法事は忘れないように気を付けましょう。
年忌にあたらぬ場合や、新型コロナウイルス感染症を鑑み御親族との法事を見送る場合などでも、当山よりお参りに行くことは可能です。ご遠慮なくお問合せ下さい。

◆◆◆◆◆ 長泉寺文化教室 ◆◆◆◆◆

長泉寺合唱団ナーガ	練習日	月曜 10時
金剛流御詠歌会	練習日	火曜 10時
御室流華道教室	毎月一回	
写経会	毎月8日、21日	9時
書の会	毎月一回	
将棋クラブ	毎月一回	
寺子屋文化講座	隔月一回	

◆◆◆◆◆ お気軽にお問い合わせください ◆◆◆◆◆

長泉寺の縁日法会へ
どうぞご参拝ください

毎月 8日9時～ 本尊縁日法会
21日9時～ 大師縁日法会
" 10時半～ 法話
28日9時～ 不動縁日護摩供

ご参拝時には、健康状態をお確かめの上
マスク着用をお願いいたします

いづみ ペーパーレス化

可能な御方に限り、『いづみ』のペーパーレス化にご協力いただいております。※すでにご登録をいただいたお方には感謝申し上げます。

ご対応いただけます檀徒様には、下記アドレスまでお名前とご住所をご送信下さい。

idumi@chosenji.net

毎月一回
客殿で開催中

■50回目
2月11日(金祝)
13:30-16:00

■51回目
3月5日(土)
13:30-16:00

いつも集まったメンバーで
楽しくやっています

どなたでもお気軽にご参加ください ※参加無料
※コロナの状況によって、変更になることがあります。
事前にお問合せください。



長泉寺ホームページをぜひご利用下さい ⇒ <http://www.chosenji.net>
住職のブログ、月行事日程、文化教室のご案内など長泉寺の様々な情報がご覧になれます